

頑張る卒業生 Vol.8

今回は堺シティオペラ第37回定期公演『愛の妙薬』で主演アディーナ役を務める浅田真理子さん、ジャンネッタ役を務める大上りあさんをご紹介します。



浅田 真理子 さん(写真左)
音楽専攻科声楽専攻修了

大上 りあ さん(写真右)
音楽専攻科声楽専攻修了

♪オーディションを受けたきっかけは？

浅田:学生の頃から『愛の妙薬』はいつか携わりたいオペラだったのでオーディションのお知らせを見た時は絶対に受験したいと思いました！

大上:実は、私はジャンネッタ役のオーディションは受けてないのです！堺シティオペラで『カルメン』のミカエラ役オーディションがあるということを柏木敦子先生から教えていただき、ミカエラの aria はコンクールでも歌ったことがあり、もっと勉強してみたいと思ったのでチャレンジしました。オーディションの結果、ミカエラでの出演は叶わなかったけれど、定期公演の『愛の妙薬』でジャンネッタ役としての出演をお声がけいただき現在に至ります。

♪合格してから本番に向けての練習について教えてください

浅田:3年前に公演予定だったのですが、感染症の影響で中止になってしまいました。その時は本当にショックだったのですが、今回念願叶って上演することになりました。『愛の妙薬』は世界中で愛される楽しい恋愛劇です。作曲者であるドンゼッティは約2週間というとても短い期間で書き上げているのですが、到底そうは思えない音楽が盛り込まれています。オーディションに合格した後は、イタリア語独特の言い回しや音楽の作り方を意識し、お世話になっているコレペティの先生や声楽の先生に助けをいただきながら準備しました。今年の秋からキャストの皆様とお会いし練習していますが、一緒に音楽、物語を作るのは本当に楽しく、毎回新鮮な気持ちでお稽古に取り組んでいます。

大上:『愛の妙薬』は勉強したことがなかったのですが、自分の存在を少しでも広めるチャンスをもたらえるならチャレンジしたい！と思いました。練習が始まると、普段自分が歌うジャンルとはかけ離れていて本当に歌えるのかなと悩みました。でも、苦手なことが一つでもできるようになって、それも自分の武器になったらラッキーなので一生懸命頑張っています！

～2ページ目に続く～

♪作品中でのそれぞれの見どころや練習で大変なことは？

浅田：私が演じさせていただくアディーナは村一番のお金持ちの娘で傲慢でプライドが高い子です。そのアディーナがこのオペラの中で、本当の愛を知ってどんどん成長していきます。成長過程を表現するのはとても難しいのですが、私もアディーナと一緒に成長していくのがとても嬉しいです、楽しいです。

大上：まず、歌が難しい！！速いリズムや高い音、中低音、苦手がいっぱい詰まっています！そして、『愛の妙薬』の約2時間の中で、歌ってないのに出演しているところがたくさんあり、そこにどうやってジャンネットの空間を作るかがものすごく大変です。これらをこなしながら、表現まで付けていくのに苦労しています。

♪専攻科修了後の主な活動は？

浅田：卒業して、国立音楽大学の大学院の音楽専攻オペラコースに進学し、その後、イタリアの歌を歌っているんだから文化や歴史、その国で生活する人に触れて私も一緒に生活したい！とイタリアに留学し、イタリアで『ドン・ジョヴァンニ』のツェルリーナでデビューして帰国しました。

大上：私はコロナ禍が始まって間もなく専攻科を修了したので、出演が決まっていたオペラが中止になり、出演する予定のコンサートなども無いまま1年ぐらい過ごしました。そのような中でも2020年の4月からは堺シティオペラ オペラスタジオディプロマコースに通っています。今は研修所で勉強しながら歌を披露できる機会を少しずつ得ています。今年の9月には『魔笛』のパミーナ役でオペラデビューを果たしました！もちろん大好きなコンクールには毎年チャレンジしています！

♪今後の目標は？

浅田：今後はお客様の心にずっと溶け込むような歌を歌えるようになること。たくさんの表現力を自分のものにして、様々なオペラのキャラクターを演じていきたいです。

大上：もっともっというろいろな方に私の歌を聞いていただきたいです！皆さんを幸せな気持ちにできる歌が歌えるようになることが目標です。オペラだけでなく宗教曲のソリストにも挑戦したいです。

【公演】

堺シティオペラ 第37回定期公演 『愛の妙薬』

【日時】

2023年1月14日(土)14時開演(13時開場)

15日(日)15時開演(13時開場)←浅田さん、大上さん出演日

【会場】

フェニーチェ堺 大ホール(堺市民芸術文化ホール)

